

岩沼市民バス運行業務 評価報告書（概要）

1. 利用状況（平成30年4月～平成31年3月）

- 市民バス：142,922人（前年度同期より14,505人の増加）
- デマンド：西部区域 565人、東部区域 628人
- 復興路線：矢野目線 42人、新浜線 314人

2. 評価

【目標値】

指標の背景	評価指標	現状（H27年度）	目標値（H33年度）
高齢者にやさしく 利用しやすい バス交通	市民バスおよびデマ ンド交通の年間利用者数 【年間の1便あたりの 平均利用者数】	14.2万人 【6.5人】	16.0万人 【7.3人】

【見直しの評価基準】

- 各路線の見直し：年間の1便あたりの平均利用者数 4人/便
- 運行経費と運賃収入等の差額：年間約7,500万円
- バス全体の運行見直し：運行経費と運賃収入等の差額が過度に増加すると見込まれる場合

【評価・今後の改善等】

- 今回の運行体系見直し（2つの循環線と5つの支線への整理）については、利用状況から一定の定着が図られており、基本的な体系整備は理解されていることから、今後もこの運行体系を基本として、岩沼市にふさわしい公共交通体系の実現を目指します。（軽微な見直しによる効率的で利便性の高い路線の確保）
- プロポーザルで提案のあった「ICカードの導入」や「利用啓発活動」「運賃以外の収入」等、提案事業者との連携により、利用促進に向けた取組に努めます。
- デマンドタクシーおよび震災復興路線の運行見直しについては、運行事業者との協議調整を行いながら、市民バスを含めた交通体系全体で検討します。（当日予約／区域の拡大／運行時刻・ダイヤの変更 等）